

優ニ面會ヲ求メタルモノ中ニハ解雇職工ヲモ念ミ居タルヲ故ニ
工場長ハ之ト共ニ交渉スルコトヲ拒絶シタリ。

斯クテ翌二十日モ機械部職工ノ罷業ハ依然トシテソノ状
態ヲ更メサリシカ、鑄物部職工百四十八名機械部職工罷業
ニ参加セサルモノ三十四名ノ他ハ、^(團) 辛議ノ前途ヲ憂ヘテ鑄物工
場樓上ニ集合シ種々善後策ヲ議スル所アリ、罷業團ニ對シ
テハ就業ノ傍ラ交渉ヲ遂ク可ク勸告スルコトニ決定シ其日
的ヲ以テ鍛冶工組長以下重立チタルモノ七名ハ會社側ノ諒

解ニ得テ同日午前十一時半^(團) 辛議本部ヲ訪問シタルニ却テ
至^(團) 鐵團幹部ノ爲メニ説服セラレ明二十三日ヨリ罷業團
ト行動ヲ共ニスヘキコトヲ約シテ帰り、午後二時工場内ニ於テ
右會場ノ頭末ヲ報告シタルニ多数ハ反對ノ意見ニ傾キタルニ
ヨリ翌二十三日ノ就業ハ職工各自ノ任意トシタリ。

然レトモコノ報告ノ後ハ一同不安ノ念ニ驅ラレテ殆ント怠業
ノ状態ニ陥入リタレハ會社側ハ一應罷業團トノ交渉ヲ試ムル
ノ必要アルヲ感シタルモノ如ク急ニ使ヲ辛議團本部ニ派シテ